

【就労検討会 令和5年度活動報告（令和6年1月現在）】**1. 就労検討会の開催 10回開催（年12回開催予定）**

今年度は各研修を担当制とし、就労検討委員がより主体的に関わる。

2. 就労サービス管理責任者・相談支援専門員の意見交換会

日 時：令和5年10月18日

目 的：連携のあり方や課題について共通認識をもつ。

参加人数：26名（相談12名，就労14名）

主な意見：サビ管・相談支援専門員ともに連携や情報共有は大事だと認識している。

意見交換会の様な場を増やしたら良い。

連絡方法や連絡手段に課題がある（例 LINEではセキュリティに不安）

3. 就労定着支援実践報告会

日 時：令和6年1月30日

目 的：就労定着支援を利用し、就労が続いている事例や就労の継続に至らなかった事例を通じて、課題の把握や課題解決への取り組みを共有する。

参加人数：19名（15機関）

参加機関：就労事業所，相談支援事業所，特別支援学校

4. 農福連携に関する情報交換会

日 時：令和6年2月16日（予定）

目 的：農福連携の農家側の支援者，福祉側の支援者の相互理解を深める。

参 加：高知市農福連携研究会，就労検討会等（予定）

内 容：就労継続支援B型，就労継続支援A型，就労移行支援事業を利用している利用者像や支援方法（作業の切り出し等）から，農家側へ求めたい配慮等を共有する。

5. ディーセントワーク委員との意見交換会

日 時：令和6年3月（予定）

目 的：一般就労先の職場理解や定着について意見交換を行う。

参 加：ディーセントワーク委員，就労検討会等（予定）

6. その他の活動

サビ管ネットワーク検討会 奇数月開催（年6回）

目的：活動を通じ、サビ管自身の課題解決能力や資質向上を目指す。

今後は共通の困り事から地域の課題を掘り起こし、就労検討会へ挙げる。

参加：西部ブロック 7事業所，南部ブロック 6事業所

※就労検討委員の事業所を中心に参加事業所を増やしていく予定。

内容：地域毎（現在，西部・南部）に就労サービス管理責任者が集まり，

各事業所の困り事の共有や解決に向けた情報提供等を行う。

活動例：

特別支援学校進路担当教員と就労サービス管理責任者の意見交換会

日時：令和5年8月30日

目的：進路担当教員と就労サービス管理責任者との連携を深める。

参加：18名（教員5名，サビ管13名）

内容：特別支援学校の生徒に対して，働く意識をどのように育てているかという

視点から，学校での進路相談の進め方について情報共有する。

【就労検討会 令和6年度活動計画（案）】

1. 就労検討会の開催 年12回開催（毎月開催）

研修会・意見交換会の企画・運営

2. 自立支援協議会の各検討会との意見交換会

令和5年度 相談支援専門員との意見交換会のテーマ「連携」

3. 就労定着支援実践報告会（内容が変わる可能性あり）

令和7年度から始まる予定の「就労選択支援」についての勉強会，

就労選択支援の受け皿と想定される就労移行支援事業所の資質向上を検討

4. ディーセントワーク委員との意見交換会

一般就労先の職場理解や定着について意見交換を行う。

5. その他

サビ管ネットワーク検討会 奇数月（各ブロック年6回）

令和6年度は北部ブロック（東部も含む）を立ち上げる予定。